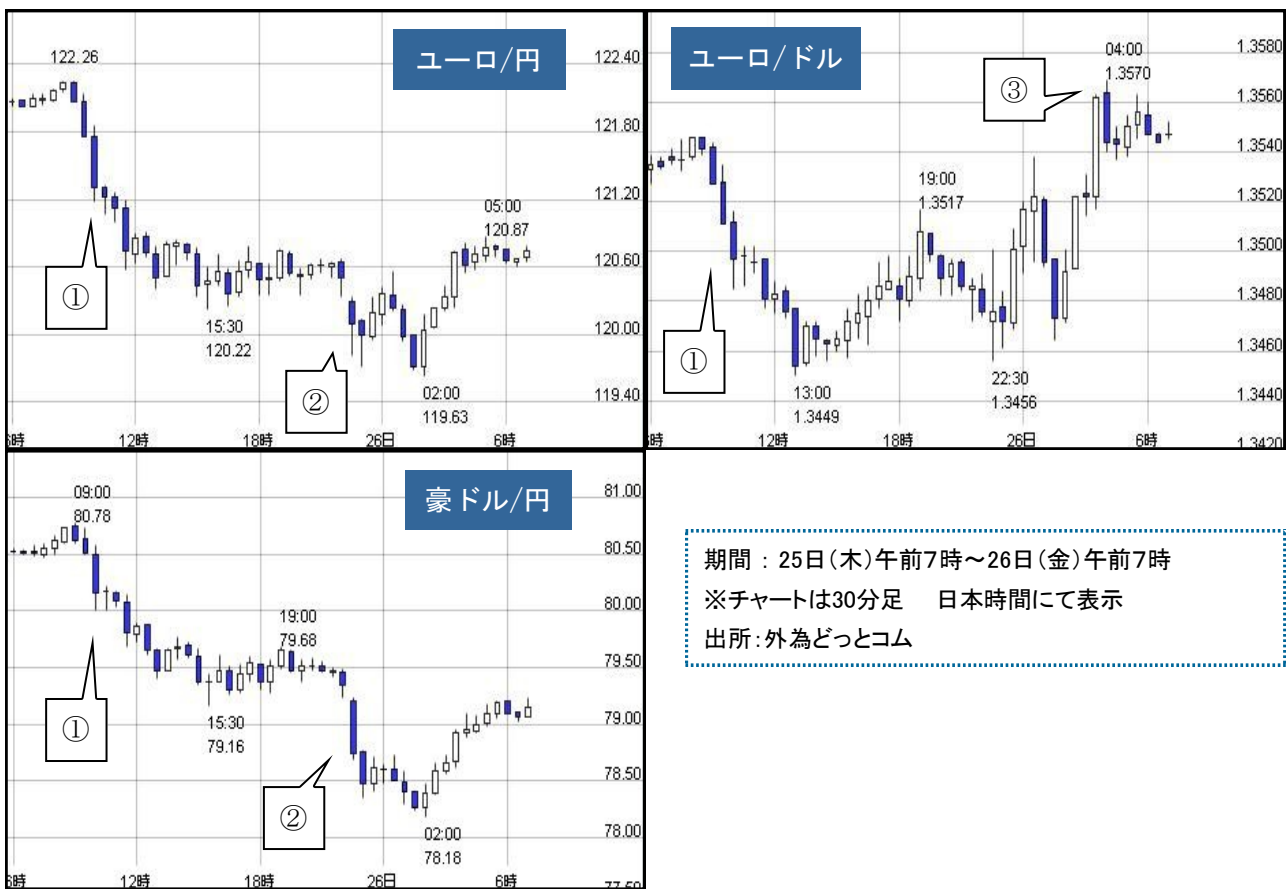


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

2月26日(金曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

月末・週末で乱高下も？

25日(木)の主な推移



①

米S&Pによるギリシャ国債格付けの引き下げ見通しや、ギリシャ国内でのゼネストによる経済への悪影響に対する懸念からユーロが売られやすい地合いの中、本邦輸出企業のユーロ売り・円買いをきっかけに、ユーロ/円が損失確定の売り注文を巻き込んで下げ足を速めると、円全面高の展開となり、豪ドル/円も急落した。ユーロ/円の急落につれて、ユーロ/ドルも下落傾向を強め、一時 1.3449ドルの安値を付けた。

②

米2/21までの週の新規失業保険申請件数が予想外の悪化となる49.6万件と発表されると、時間外のNYダウ先物が急落し、リスク回避姿勢の強まりからクロス円の下落到拍車がかかった。日本時間午前2時頃にはユーロ/円は約1年ぶりの安値となる119.63円まで、豪ドル/円は78.18円まで下落した。

③

米国の経済指標の悪化や、質への逃避の債券買いから長期金利が低下したことにより、ドル売りが強まると、対ドルではユーロを買い戻す動きが活発化し、ユーロ/ドルは1.3570ドルの高値を付けた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3450-1.3650ドル
ユーロ/円 : 119.80-121.80円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 78.50-80.50円

米住宅市場の動向はFRBの金融政策スタンスにも大きな影響を与えることから、本日 24 時に発表される米 1 月の中古住宅販売件数に注目したい。24 日の新築住宅販売件数は予想外に減少しており、米住宅市場の回復の鈍さを示す事になったが、今日の中古住宅販売でも、前月を下回るような弱いものになると、投資家はリスク回避の動きを強めることになり、ユーロ/円の下落要因となりそうだ。

また、本日は月末、週末の取引となるため、実需の為替取引が増えるとともに、短期筋のポジション調整も入ると見られ、想定以上の変動となる可能性も考慮しておきたい。

来週火曜日 2 日に豪準備銀行理事会を控え、利上げは微妙な情勢となっていることから、豪ドル/円相場は思惑が交錯しやすい局面である。それだけに、ポジション調整の動きも出やすく、昨日の大幅下落の反動から、買い戻しの動きが強まる事も考えられる。もっとも、各国の株価や商品価格が軟調推移となれば、豪ドルを買い戻す動きは限られるだろう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/26(金)	22:30		(米) 第 4 四半期 GDP・改定値 [前期比年率]	+5.7%	+5.7%
	23:45	○	(米) 2 月シカゴ購買部協会景気指数	61.5	59.7
	24:00	○	(米) 1 月中古住宅販売件数	545 万件	550 万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。